

## 令和5年度 相模原弥栄高等学校 不祥事ゼロプログラムの検証等

## ○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上	全教職員の法令遵守の意識の向上を図るとともに、生徒・保護者・県民から信頼される教職員としての資質の向上に取り組む。	7月に教職員の「対話型研修」により、本校独自の職員行動指針を作成し、職員室の各年次と事務室に掲示して、意識向上を図った。 また、職員との日ごろからの会話や職員会議等を通じて意識啓発に努めた。
職場のハラスメント（パワハラ、セクハラ、マタハラ等）の防止	人権に配慮し、職場のパワー・ハラスメント、セクシャル・ハラスメント、マタニティ・ハラスメント等を防止する。	5月及び1月に「職場のハラスメント」をテーマとした不祥事防止研修会を実施した。日ごろから風通しのよい職場づくりを通じて、気にかかる小さなことから注意を喚起し、そのような不祥事が起こる環境を作らないように努めた。
生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	職員一人ひとりがわいせつ・セクハラ行為の未然防止について当事者意識を持って取り組み、決められたルールを遵守し、生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の発生を防止する。	7月に対話型・不祥事防止研修会を実施した。全職員で班別協議を行った。また、「児童・生徒に対する相談・指導等における留意事項の徹底について」の通知に記載の各種留意事項について触れ、教職員の理解促進を図った。
体罰、不適切な指導の防止	生徒の人権を尊重し、体罰や不適切な指導の発生を防止する。	7月に「体罰・不適切な指導の防止」をテーマとした不祥事防止研修会を実施した。日常的に生徒指導に関する情報交換を密に行い体罰の防止に努めるとともに、生徒の変化に注意を払い生徒理解に基づいた適切な指導を行った。また、いじめや暴力に係る生徒アンケートを実施し、いじめの根絶、未然防止に努めた。
成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止 入学者選抜に係る事故防止	適切な成績処理、誤りのない進路関係書類の作成及び取扱いの徹底を図り、決して事故を発生させない体制整備に努める。 入学者選抜に関する業務に適切に取り組み、事故防止に努める。	6月に「定期試験・成績処理の事故防止」をテーマとした不祥事防止研修会を実施した。成績一覧表、通知表、指導要録や調査書等の作成マニュアルに基づき、職員が正しく理解し、作成できるよう徹底した。また、進級や卒業に関する生徒及び保護者への適切な指導を行うため、必要な情報の共有と意識啓発に努めた。 12月に「入学者選抜の事故防止」をテーマとした不祥事防止研修会を実施した。新しい方式での入学者選抜を目前とし全職員で業務内容を確認するとともに県内の過去の事故事案から事故の未然防止に努めた。
個人情報等管理、情報セキュリティ対策	適切な個人情報等の管理を徹底するとともに、万全な情報セキュリティ対策の構築に努める。	4月に「児童・生徒の個人情報の取扱い」をテーマとした不祥事防止研修会を実施した。研修会や朝の打合せ等を通じて、個人情報の適切な管理のため意識啓発を行った。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	法令を遵守して交通事故の発生を未然に防止するとともに、全教職員が決して酒酔い酒気帯び運転を行わないよう意思の統一を図る。	11月に「飲酒運転等の根絶」をテーマとした不祥事防止研修会を実施した。研修会や朝の打合せ等を通じて、法令を遵守する姿勢をもたせ、交通事故防止、酒酔い、酒気帯び運転防止等を徹底した。
業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	円滑な公務運営を実現するため、適切な業務執行体制を構築するとともに、全教職員間における協力体制を実現する。	日常から管理職を含む教職員間で気になること、ヒヤリとしたりはったりすることなどの情報を共有し、不祥事の未然防止に努める職場環境づくりを目指した。
財務事務等の適正執行	財務事務等を適正に執行し、事故の発生を未然に防止する。	10月に「適正な私費会計の取扱い」をテーマとした不祥事防止研修会を実施した。また、11月に実施した県立学校財務事務調査の指導結果に基づき、全職員で指摘事項の共有をするとともに、事故のない職場環境づくりを目指した。

○ 令和5年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和6年度に取り組むべき課題  
(学校長意見)

本校では、日頃から国や県の動向などの情報をもとに、職員打合せや職員室内での掲示等通して職員への不祥事防止に係る注意喚起を行ってきた。

校長として、職員一人ひとりに対して声掛けを大切にして、風通しの良い職場づくりに努めながら、不祥事ゼロプログラムを踏まえた不祥事防止研修会を実施した。

今後も、すべての教職員が自分事として考え「気にかかることをそのままにしない」よう不祥事の未然防止、ミスを事故に繋げないよう取り組んでいく。

来年度は、生徒の人権を教職員に意識させ、不祥事ゼロプログラムを検証して不祥事の起こらない環境づくりに努めていく。